

福生新聞

発行所 福生町志茂駅西館前
福生新聞社
電話福生422・574
発行人 川上作司

ワイシャツ
ブラウス
タケツマヤ
TEL. 259

鏡と額縁
おくりもの
三井の
漆器
記念品に最適
福生駅前 電話四四八番

東 竜太郎 有田に勝ったが 新都議会定足数で自民に不利



東は有田を十万人票を切り離して勝った、一方新都議会の分野はどうかとみると、自民党八十一人が八人減って七十三人、社会党は三十一人だったのが、十八

増えて四十二人、共産党は二人で増減なく、無所属は一人増して三人というところになり、新都議会の三分の一を占めることとなった。そこで今後三分の一以上の定数を必要とする場合は、この社会党の議席数が大きくモノをいうことになり、都議会における自民党の勢力がかなり後退したことになる。従って東都政に対する都議会の存在は波瀾をよみ、都民は相当混乱都政をみせつけられそうになった。(写真は栄冠をかち得た東都政) (写真は栄冠をかち得た東都政) (写真は栄冠をかち得た東都政)

決然と出馬した 岩浪力造氏

青梅市長戦

青梅市長選挙は現市長 榎戸米吉、岩浪力造、と四ヶ年の実績と経験を土台として市民にアピールして、全市民の支援を要請して現職の強みを以て戦っている。

榎戸米吉氏

過去十年の青梅の市政、そして四ヶ年の市長の体験をもとにして建て直して来た健全



財政を整理に……
一、意欲的な発展策(たきぎ)と都との助成をあくまじくはかり
▽正しい市政で明るく青梅市を建



政治は気魄がなければ駄目だ……と

憤然と語る野人……と 岩浪力造氏

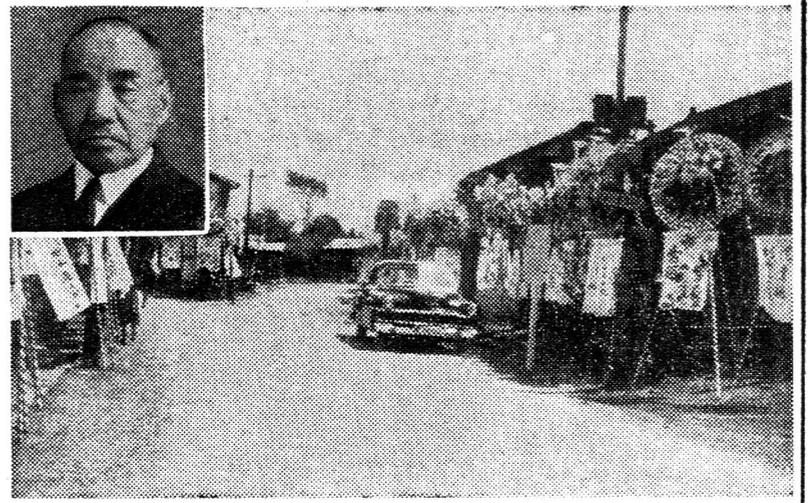
一、新しい市長が、新しい政治感覚を持って、新しい青梅市の建設に五万六千の市民と共に、明るい気持でやってみよう。これが私の第一にとりあげて市民の皆さんに協力を求める第一声であります。

一、次いで青梅市人口の増加を計る青梅線、武州鉄道等を新市建設と直結し工場等を誘致したい。一、主要産業の織物、農林畜産業



同情集まった杉山三七氏 自民党公認で巻返したか

青梅市地区の都議選は現職の杉山三七氏が当選の栄冠をかち得た。一年前より日に夜をこらして運動を続けた薄上茂氏にやられるかと二股にみられていた、杉山三七氏自民党公認となって巻返し、一



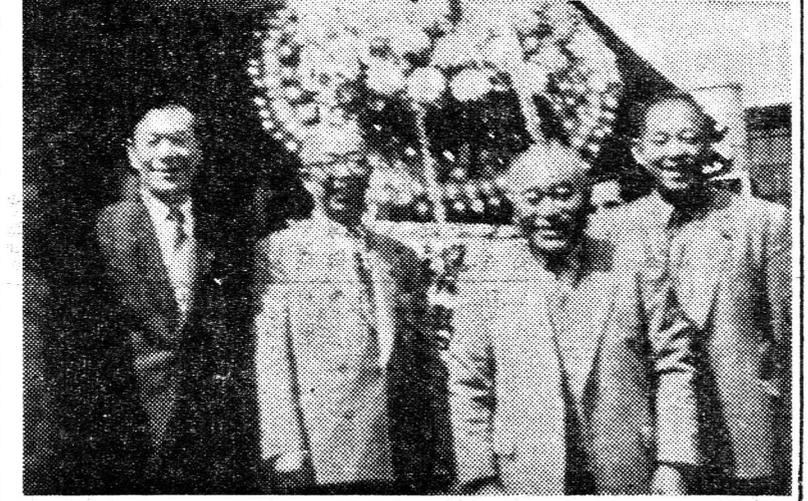
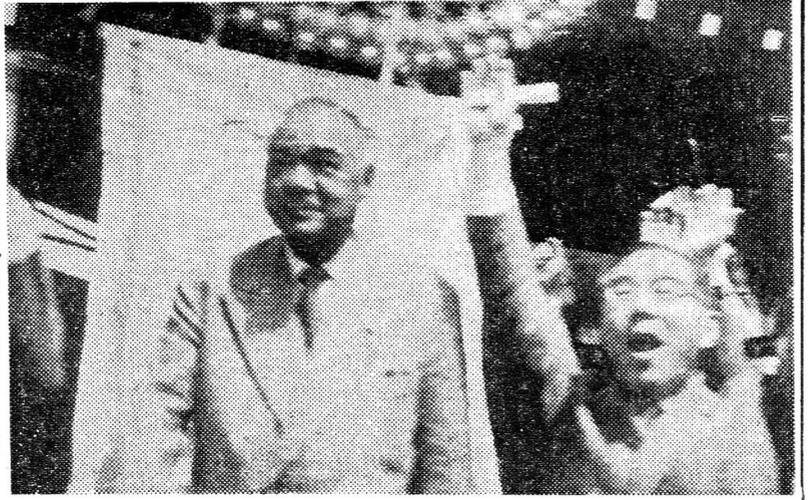
羽村、村山町は 現町長が独走

羽村町 村上孝平氏

羽村町、村山町は対抗馬なく町長は無投票だと思っていたところ急に、かけもち候補者が現われて役場の係を面食らわされた。しかし選挙の実状はかけもち候補であるため、選挙戦は現町長の独走に終るものとみられている。現町長候補も選挙戦であるので熱心に立候補の挨拶と政見を町中隅々く発表し巡っている熱心さと努力が払われている。



一、教育の整備 東西小中学校舎の修理、教材の充実



喜び 田村幾太郎氏 五千票を切り離して勝つ

好調は続いているが保守の共喰で社会党に力をあきらめるので、田村幾太郎氏と万託を参唱する。口、谷部市議員

諸江 吉夫氏



村山町長戦

村山町長戦は波多野源三氏と現町長諸江吉夫氏の戦いである。立候補した現町長は、小学校の旧校舎の建費、第一、第二分校の独立、

根岸昌一氏独走

現町長根岸昌一氏が再出馬して二人が出たので選挙になったが大和町も現町長根岸昌一氏の独走

五市町戸念地区 財産区管理委員	田	村	木	中	村	太
五日市町戸念地区財産区管理委員	7,250	633	1,183	135	135	425
選挙は十日施行され、次の通り決定した。	1,972	2,037	829	23	23	111
野崎三郎	2,494	2,454	664	42	42	82
黒山 利宗	3,232	1,134	2,227	111	111	11
高橋半三郎	1,199	1,336	1,243	42	42	8
黒山 定良	2,675	1,472	2,636	82	82	11
荒井本一郎	1,082	801	479	11	11	8
木住野茂十郎	616	5,500	889	8	8	8
宮本 昭一	20,527	14,936	10,136	425	425	425

中村質店
福生駅前

